

YOMEL API連携セミナー

会議ログを、業務システムへつなげる方法

2026年7月9日
株式会社 PKSHA Infinity
カスタマーサクセスチーム

本日のゴール

YOMELのAPI連携で何ができるかを理解する



POINT 01

**REST API /
Webhookの違い**

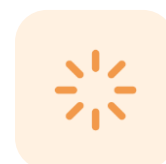
2つの連携方式の特徴と
使い分けを整理します



POINT 02

**取得できる
データのイメージ**

書き起こし・要約・話者
分離などのデータを扱え
ます



POINT 03

業務活用例

ストレージ・CRM・ナレ
ッジへの具体的な連携シ
ーン



POINT 04

導入時の注意点

セキュリティと権
限設計のポイント
を押さえます

YOMEL API連携による「会議ログ資産化」構想

会議終了後、即座にログを外部送信



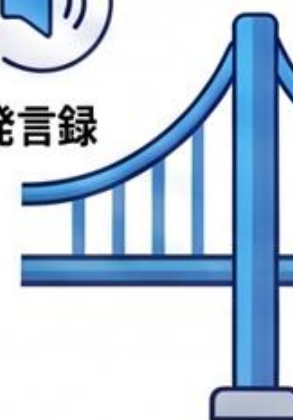
YOMEL

YOMELで生成された要約や発言録を、Webhookを通じて自動で外部システムへ転送します。



要約・発言録

API / Webhook 連携 & 自動処理



メタデータ



会議名、部署、参加者等



メタデータ付与とフォルダ自動振り分け：
会議名、部署、参加者等の情報を付与し、
Box内の所定フォルダへ自動的に保存・
整理します。

組織全体での再利用・監査・検索



情報共有・引き継ぎ



コンプライアンス監査



AI検索基盤



外部ストレージ (Box等)

蓄積されたデータは、部門横断での情報共有や
引き継ぎ、コンプライアンス監査に活用されます。

導入による組織の変化 (Before & After)

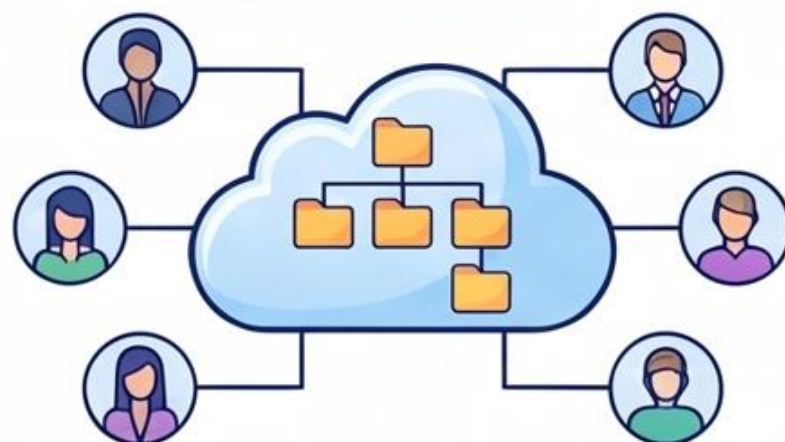
導入前 (Before)



個人のメモ

- 各担当者のローカルや個別フォルダ
- 命名規則がバラバラで検索困難
- 会議参加者のみに閉じる

導入後 (After)



- 社内共通ストレージ (Box等)
- 日付・部署・案件名で自動整理
- 部門横断・後任者・監査でも活用



属人化を排除し、引き継ぎ品質を向上

異動や退職時でも過去の経緯を容易に追跡でき、
情報の断絶を防ぎます。



効率化の枠を超えた「情報統制」の実現

議事録作成工数の削減だけでなく、全社的な監査対応や
AI検索基盤としての価値を提供します。

なぜAPI連携が必要か

会議後の業務には、まだ手作業が多い

⚠ 現状の課題

手作業で行われている会議後の業務

- 01 議事録を保存する
- 02 要約を共有する
- 03 CRMや社内ポータルに転記する
- 04 報告資料にまとめる



✓ 解決策

API連携により、会議後の作業を自動化できます

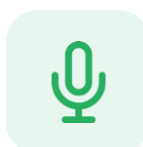
YOMEL APIでできること

YOMELでは、**Webhook** と **REST API** の2方式で連携できます



ログ情報の取得

会議・会話ログの
基本情報を取得



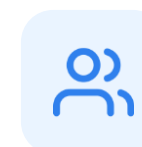
書き起こし結果 の取得

テキスト化された
発話内容を取得



要約結果の取得

自動生成された
要約テキストを取得



話者分離結果の取得

誰の発言かを識別
したデータを取得



ユーザー・
グループ情報
組織構成データ
の取得

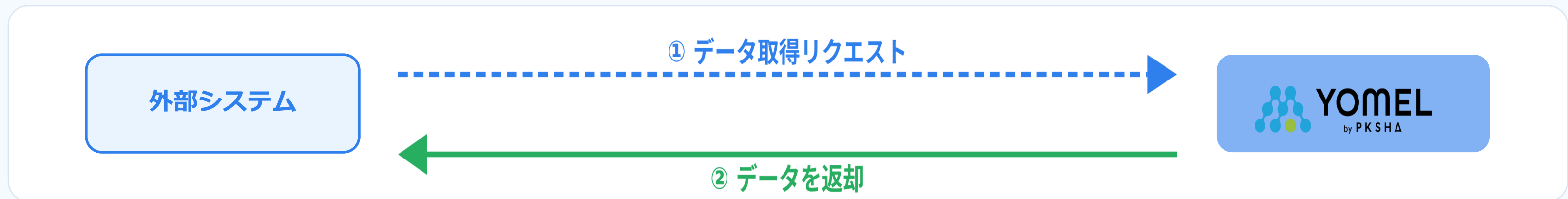


連携イメージ

これらのデータを、業務システム（ストレージ／CRM／BIツール等）と自由に組み合わせて活用できます

REST APIとは

外部システム側から、YOMELのデータを**取りに行く**方式



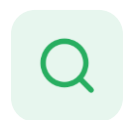
例：こんな使い方ができます



CASE 01

毎日夜に会議ログを取得

定時バッチでまとめて取得



CASE 02

特定グループのログを検索

条件を指定して抽出



CASE 03

要約結果を取得して
社内DBへ保存

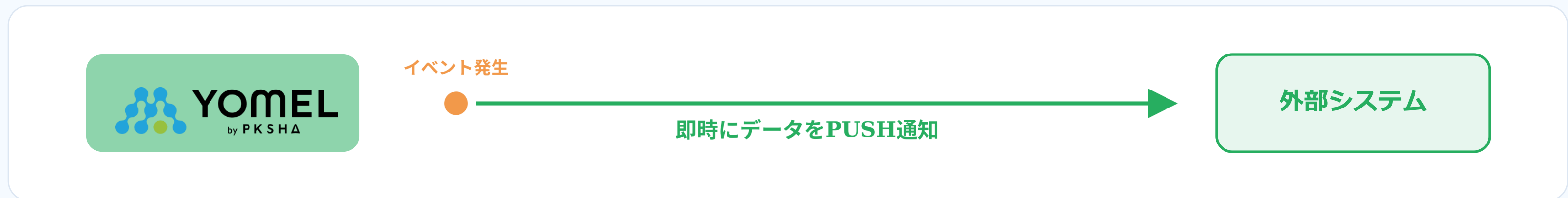


CASE 04

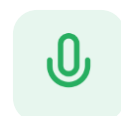
話者分離結果を
分析に活用

Webhookとは

YOMEL側のイベント発生時に、外部システムへ**通知する**方式

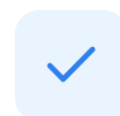


対象イベント例



EVENT 01

リアルタイム
書き起こし発生時



EVENT 02

会議終了時



EVENT 03

話者分離完了時



EVENT 04

要約処理完了時

2方式の違いを比較する

用途に応じて、REST APIとWebhookを使い分けます

REST API



タイミング

好きな時に、任意のタイミングで取得

主な用途

まとめて取得・条件検索・過去データ参照

向いているケース

定時バッチ処理／分析用のデータ抽出

Webhook



タイミング

イベント発生時、即時に通知

主な用途

リアルタイム処理・自動連携トリガー

向いているケース

会議終了→即通知／CRM自動登録

活用例 ① STORAGE

社内ストレージ連携

会議終了後、議事録・要約を**自動保存**



連携先イメージ

Box

SharePoint

Google Drive

社内
ファイルサーバー

✦ 導入効果

- ✓ 保存漏れ防止
- ✓ 検索性向上
- ✓ 監査対応の効率化

活用例 ② CRM/SFA

CRM・SFA連携

商談ログを顧客情報に紐づける

例：商談後の自動連携フロー

1



商談終了

2



要約完了

3



CRMに商談メモに自動関係

4

次回アクションを営業チームで共有
マーケティング部門でのデータ分析の基礎データに

KEY MESSAGE

営業活動の記録を、
会議後すぐに
資産化できます

活用例 ③

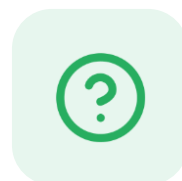
ナレッジ活用

会議ログを、組織のナレッジに変える



USE CASE 01

問い合わせ傾向の分析



USE CASE 02

FAQ作成



USE CASE 03

決定事項の蓄積



USE CASE 04

部門横断での情報共有



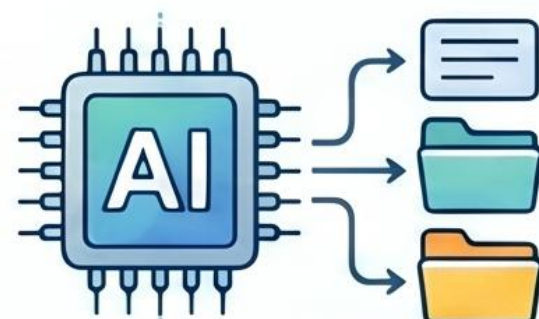
POINT

議事録を「保管」するだけでなく、**再利用できる状態に**

店長会議を「資産」に変える：YOMELによるデータ活用・API連携構想

店長会議の音声データをYOMELで分析し、API連携を通じて現場改善や経営判断に活用する流れを視覚化する。

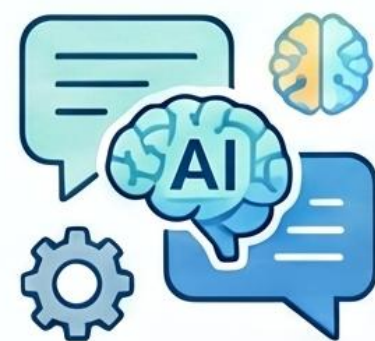
ステップ1：YOMELによる「現場知」の抽出と可視化



- カスタム要約で暗黙知を構造化
「成功事例」「課題」「本部要望」などの観点でAIが自動整理し、使える示唆を抽出します。



- 会議は「現場知の宝庫」である
売上好調の要因や現場の切実な課題など、定量データに現れない重要情報が眠っています。



- AIチャットによる深掘り分析
文字起こしデータに対し対話形式で質問し、経営層や現場向けに情報を再構成できます。

ステップ2：API連携による業務プロセスへの統合



- 外部システムとの自動データ連携
YOMELの分析結果をkintoneや社内DBへ飛ばし、会議ログを「動くデータ」に変えます。
- 「話して終わり」にしない現場展開
抽出された知見を教育コンテンツや改善チェックリストへ変換し、現場の行動変容を促します。

kintone

連携先：kintone

活用イメージ

- ・店舗別の課題管理
- ・アクション管理
- ・成功事例の蓄積



連携先：社内ポータル

活用イメージ

- ・店長会議の重要トピックや成功事例を全店舗へ迅速に発信



連携先：BI / DWH

活用イメージ

- ・店舗別の課題傾向や施策効果を時系列で定量的に分析

連携時の基本構造

YOMELでは、**スペース** / **グループ** / **ログ** の単位でデータを管理します

スペース = 利用環境

グループA

📄 ログ 001 (会議録)

📄 ログ 002 (商談)

📄 ログ 003 (打合せ)

グループB

📄 ログ 004

📄 ログ 005

📄 ログ 006

- **スペース**

利用環境

- **グループ**

ログの管理単位

- **ログ**

会話・会議の記録

🔑 **API KEY による制御**

APIで参照できる範囲は、
API Keyに紐づく承認済みグループに限定

セキュリティ・注意点

API連携は、**権限設計と運用ルール**が重要です



RULE 01

API Keyは発行時のみ表示

発行時に表示された値を、安全な場所に保管してください



RULE 02

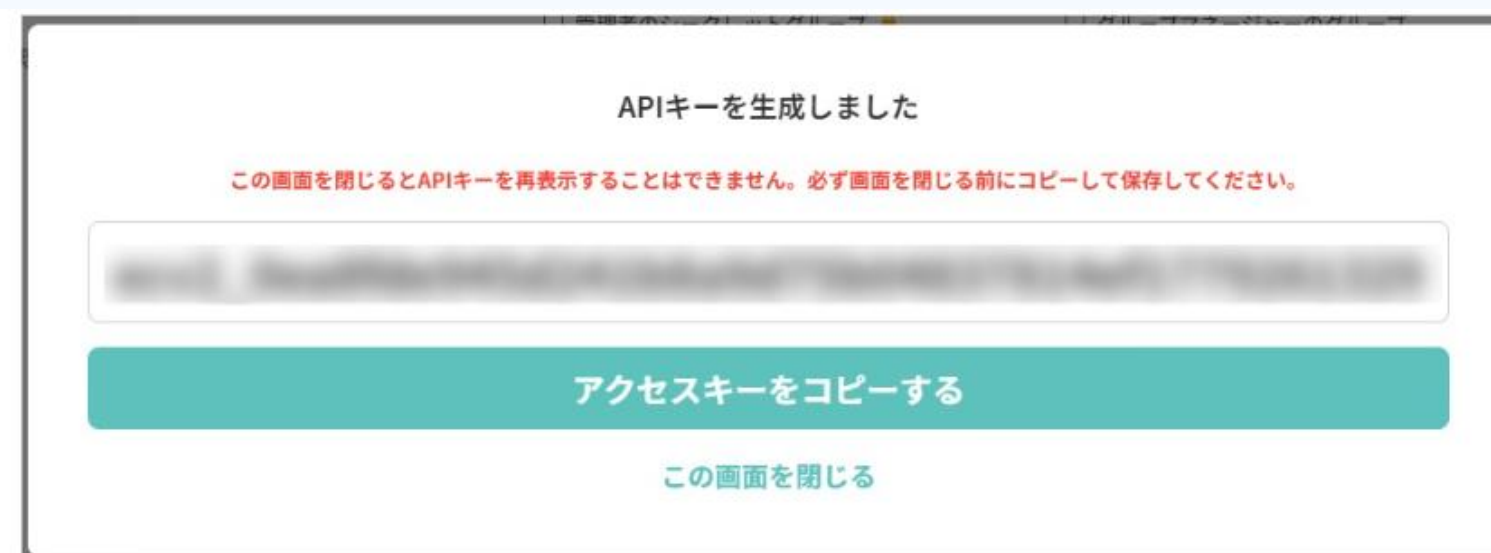
API Keyには有効期限が必要(最大1年間)

定期的なローテーションで、漏洩リスクを最小化します



RULE 03

プライベートグループのデータは取得不可



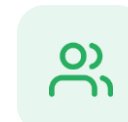
導入ステップ

小さく始めて、業務に合わせて広げる



STEP 01

自動化したい業務を決める



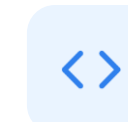
STEP 02

対象グループを選定



STEP 03

取得したいデータを決める



STEP 04

テスト連携実施



STEP 05

本番運用・
権限管理へ

まとめ

YOMEL API連携は、会議ログの活用を広げます

(詳細手順)

- YOMEL API連携概要ページ <https://support.ai.yomel.co/hc/ja/articles/58149253295641>
- YOMEL APIドキュメント <https://share.apidog.com/bf4a2b97-5126-4907-b447-9d191343b68d/doc-928108>



保存



共有



分析



業務システム連携



自動化することで、会議データを業務資産に変える



YOMEL API連携による「会議ログ資産化」構想

会議終了後、即座にログを外部送信



YOMEL

YOMELで生成された要約や発言録を、Webhookを通じて自動で外部システムへ転送します。

API / Webhook 連携 & 自動処理



要約・発言録



メタデータ



会議名、部署、参加者等



メタデータ付与とフォルダ自動振り分け：
会議名、部署、参加者等の情報を付与し、Box内の所定フォルダへ自動的に保存・整理します。

組織全体での再利用・監査・検索



検索基盤



情報共有・引き継ぎ



コンプライアンス監査



AI検索基盤



外部ストレージ (Box等)

蓄積されたデータは、部門横断での情報共有や引き継ぎ、コンプライアンス監査に活用されます。

導入による組織の変化 (Before & After)

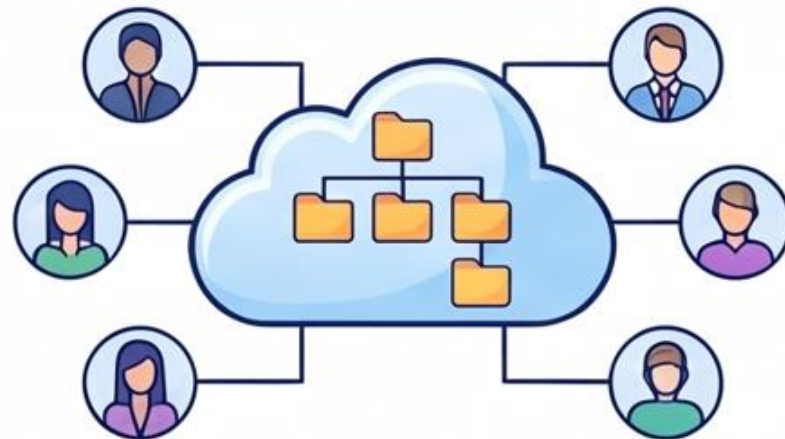
導入前 (Before)



個人のメモ

- 各担当者のローカルや個別フォルダ
- 命名規則がバラバラで検索困難
- 会議参加者のみに閉じる

導入後 (After)



- 社内共通ストレージ (Box等)
- 日付・部署・案件名で自動整理
- 部門横断・後任者・監査でも活用



属人化を排除し、引き継ぎ品質を向上

異動や退職時でも過去の経緯を容易に追跡でき、情報の断絶を防ぎます。



効率化の枠を超えた「情報統制」の実現

議事録作成工数の削減だけでなく、全社的な監査対応やAI検索基盤としての価値を提供します。

YOMELは「会話を記録するツール」から、 「業務データを生み出す入口」へ進化する。

現場の会話を、全社の業務資産へ。データ連携基盤としてのYOMELが、
貴社のデジタルトランスフォーメーションを加速させます。

Q&A

ご質問ください

どんな内容でもお気軽にどうぞ

よくある質問の例

Q 自社システムと連携できるか

Q どのデータが取得できるか

Q どの業務から始めるべきか

Q セキュリティ面で確認すべきこと

